

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

平成30年6月通常総会が開催されました



総会後の懇談会の模様

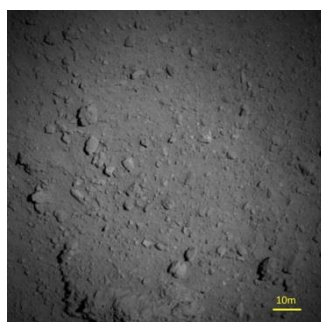
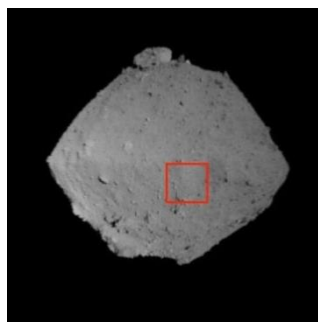
平成30年7月豪雨で被害を受けた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。7月8日の山口県での宇宙の学校に参加する予定で岩国市へ行きました。中国地方の多くの地域で大雨の被害があり、前日なんとか現地入りは出来ましたが、開催は中止となりました。中国地方にも多数の会員の方々がおられ被害がなく安全であることを祈っております。今年も総会にご出席いただいた皆さまありがとうございます。また、残念ながらお会いできなかったみなさまも委任状の送付などお手数をおかけいたしました。

総会当日、定刻となり、参加者17名、委任状92名合計109名により、所定数を満たし、総会が成立いたしました。29年度事業報告および決算報告、30年度事業計画、予算案、法改正による定款変更などについてそれぞれ事務局より説明があり、審議、承認を得ました。定款変更については、法改正により本年10月以降は貸借対照表をホームページに掲載することとなり、来年度より資産の登記が不要となります。現在ホームページでの公告の準備をしております。

総会終了後、お集まりのみなさんと懇談会を行いました。今年度は10周年の節目の年として、KUMAがめざすもの。活動をどのように広げて行くのか。会員の増加や寄付金の獲得、健全な組織運営をどのようにすすめていくのか。などをテーマに話し合いました。みなさまから日頃感じていらつしやることなど、多数のご意見、ご提案を頂戴いたしました。（次頁で紹介）できることから取り組んでまいります。今後ともみなさまとともに活動をすすめてまいりたく、変わらぬご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

会長 並木道義

■宇宙の小窓 地球から3億キロかなたのリュウグウ画像



高度約1000mから望遠の光学航法カメラ（ONC-T）で撮影したリュウグウの表面。2018年8月7日、7:57頃（日本時間）に撮影。
©JAXA, 東京大, 高知大, 立教大, 名古屋大, 千葉工大, 明治大, 会津大, 産総研

【活動予定】

宇宙の学校 各地でスクーリング開催中
宇宙の学校 指導者セミナーおよび講習会
おとなの宇宙の学校 国分寺、新宿 企画中
企業CSR支援事業

8/17 MHI 理科授業（福島）

8/22 MHI しんせんサマースクール（神戸）

10/26 MHI 理科授業（三原）

イベント・講演

8/24 東京ガ-デンツ紀尾井町「宇宙の教室」

8/23 放課後子ども教室県中地区研修会（福島県）講師派遣

9/30 さんそ学習館ケイオス（島根県）講演

10/20.21 武蔵野短期大学学園祭 講演と「宇宙の教室」

心象風景

KU-MA 会長を退いて若いお二人にバトンを渡しましたが、引き続き理事として、また毎月の運営委員会に顔を出しています。

約10年前に宇宙科学研究所を定年で退きましたが、その前後は残りの人生をどう生きようかとずいぶんと考えました。KU-MA の活動はそのうちのひとつです。それが定年後早くも12年が経って75才が近づき、おどろいてしまいます。ある夜遅くテレビをつけると、能「邯鄲」が演じられていました。学問をめざした盧生が一炊を待つ間に夢にみた生の短かさ、はかなさに驚くのです。その茫然の姿に心打たれました。

大学時代の始めの2年間、おおきな自治学寮に一同の仲間がクラブとして寄宿していました。その仲間と50余年ぶりのつきあいを再開しました。全国各地からの比較的に貧しい文科、理科さまざまな個性が混じっていました。大人になり始める頃のこと、それが、それぞれの道に散っていたのでした。盧生の一炊の夢のように、幾通りもの人生の過ごし方を、逢って聴くことができます。そしてあらためて、世の中のために、小さくともこれから自分にできることはなんだろうかと自問します。



理事 平林 久

また、高校時代の同期のある友人とこれまた50余年ぶりに親しく話せる機会ができました。彼は大学病院に勤める甲状腺外科が専門の医師でした。1986年のチェルノブイリ原発事故に際しては、被害の深刻だったベラルーシに何度も出かけて調査、医療活動したそうです。そして1996年には職を辞して退職金を使い切って単身での5年半のボランティア活動のためにベラルーシに身を投じたのです。放射性的ヨウ素がおよぼす甲状腺被爆にたいして、現地でのさまざまな劣悪条件下でできることを地道に続けたのです。まったく畏敬すべき友です。医療という仕事は人の苦しみに真っすぐ向かっているなと思い知らされ、圧倒されます。

彼とは上田高校の同期で、通学の3年間を同じ列車に乗っていたのです。聞けば同じ7人兄弟の末っ子だったのです。同じ鉄道を共有したからこそ、その後の進路と人生の大きな違いを象徴的に感じるのです。

科学は人の心をよるこばす大切なものといわれます。彼は今、長野県の松本市長として魅力的な街づくりを進めています。そして宇宙を軸とした科学の潤いに満ちた科学館をたちあげようとしています。心から応援したいと思っています。

最近、友人を次々と亡くしています。あのころの時間が消失し、先の時間も迫っているのを感じます。

私の心象風景の一端でした。

各地の「宇宙の学校」を訪れて

-指導者セミナーのアンケートから-

副会長 稲葉 茂

昨年、全国の56か所で「宇宙の学校」が実施されました。そのうち、私は、新規開校や開校して日が浅いところを中心に10か所近くの学校にお邪魔する機会をいただきました。

多様な主催者も想いは同じ

主催者の方々は、教員OB、地域の有志、学校PTA関係者、教育委員会など様々でした。しかし、どの学校でも「子どもを見守り、子どもを支える」大人の姿の素晴らしさを感じることができました。まさに学校中心の「教える教育」から「みんなで共に育む共育」が実践されていることを感じました。

宇宙の学校で大事にしていること

「宇宙の学校」では、大事にしていることが二つあります。一つ目は、「家族の絆を深めること」です。それを具現化するために「家庭学習」を用意し、保護者が先生となる仕組みを用意しています。二つ目は、身近な素材や題材をもとにスクーリングや家庭学習ができる工夫がされています。この大切な理念がどの開催地でも重視されているかといえば、正直、差が感じられました。

指導者セミナーで活動をサポート

長く続けているとマンネリ化を避けるために目を引くためのテーマ設定や参加者全員が失敗しないために説明が丁寧になりがちです。そのような弊害を防ぐために、宇宙教育指導者セミナーを開催し、理念の周知や再認識をお願いしています。指導者セミナーでは、「宇宙の学校」の理念・「安全管理と安全管理」・「スクーリングプログラム」などを通して子どもの学びに気付いてもらっています。昨年度のセミナー参加者からは、次のような感想をいただきました。

生活のすべてが「宇宙の学校」につながる事が分かった。

一方的に与えるのではなく、主体的に考えてもらう工夫が大切なことがわかりました。

是非、会員の皆様も近くで開催される「宇宙の学校」にお出かけください。



2018 宇宙の学校®開催地情報（予定）

今年も全国のたくさんの地域（会場）で開催しています。（■青色★は新規）家庭学習とスクーリングの継続した活動で、家族や地域の絆を深めていきます。お近くの会場の日程や開催模様は当会のホームページで確認できます。見学や開校などのご希望はお気軽に事務局へお問合せ下さい。



総会や懇談会で会員から寄せられたご意見について（抜粋）

【総会】 Q:質問 事:事務局 会:会員 事業報告について

Ⅰ「宇宙の学校」事業について

事:4校減少について、今後、分析が必要

Ⅱ企業CSR支援事業について

Q:増加が難しいのはなぜか?

事:広報が足りずまた飛び込みも難しく、理事に紹介をお願いをしているが、難しいのが現状、会員の方にもぜひ企業を紹介して欲しい。

会:企業が自分たちで実施し、表彰をもらったり企業宣伝にもなっている。宇宙関連企業に存在をアピールして行ったらどうか。

会:コネクションを利用する考えを変え、積極的な努力が必要。企業にとってもwinwinの関係をアピールしていくことが重要!

決算報告

Q:会員の減少、寄附金の減少に対する対策は?

会:宇宙に関して色々な宇宙ビジネスへの関心も増えているので、この追い風にのるべき

事業計画

Q:ホームページの改定のご具体案は?

事:活動が伝わるものにしていきたい

事務局より

懇談会では参加いただいたみなさまから貴重なご意見を多数いただき、アッという間に時間が過ぎていきました。参考にさせていただき、できることから努力してまいります。残念ながら参加できなかった皆様、ぜひご意見、ご提案などをお寄せ下さい。会員の皆様に支えられ10年目を迎えることができました。今年は節目の年、「おとなの宇宙の学校」の開催など、会員間の交流や参画いただける機会を増やしてまいります。これからも皆様とともに子どもたちの明るい未来のため活動してまいります。

■新刊案内

惑星 MAPS ~太陽系図絵~

もしも宇宙を旅したら もしも宇宙でくらすたら
宇宙兄さんズ (著), 子供の科学編集部 (編集),
イケウチリリー (イラスト) 2018/6/7 発売

宇宙を旅できるようになったらどの惑星に行ってみたい？

ヒトが火星へと移住する計画が具体的に研究されている今、
子供たちにとって、惑星を旅することは、見果てぬ夢ではありません。

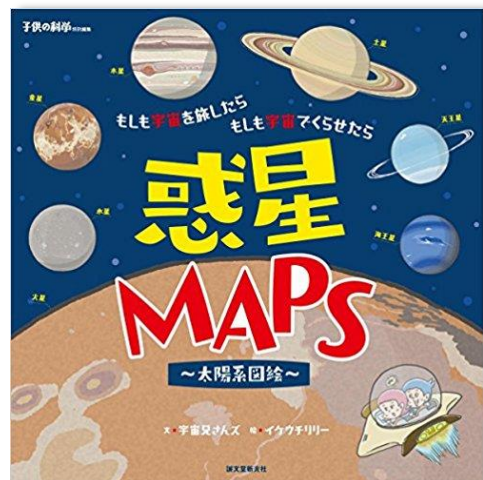
本書は、もしかしたら将来行くかもしれない、という視点で、
宇宙にどんな世界が広がっているのかを教えてくださいの絵本です。

火星へは月を経由して、ロケットで7ヶ月くらいかかるよ。

火星から地球へ連絡するには片道20分かかかるから、

返事は40分は待たないとねなど、最新科学で解明された

各惑星の情報を、ユニークなイラストと写真で紹介します。



■相模原キャンパス 特別公開日



7月27日はJAXA 相模原キャンパスの特別公開日でした。朝から暑い日でしたが、早くからたくさんの方が来られていました。周辺施設の相模原市立博物館や国立映画アーカイブなどでも、イブシロンロケットの森田教授などによる宇宙科学セミナーなどが行われたり、28日も川口教授や宇宙科学研究所國中所長の宇宙科学セミナーや山崎直子さんの講演などが予定されていましたが、残念ながら28日の公開は台風接近のため中止となりました。

KU-MAは、例年、事務所の外からの楽しい雰囲気を感じつつ、通常業務を行っています。毎年、この部屋も見学できるかな？と事務所のとびらを開ける方が数名いらっしゃいます。今年は、会員の方が数名訪ねてこられました。お会いできて嬉しかったです。

相模原キャンパスは年1回の公開日以外でも、施設内にある宇宙科学探査交流棟の見学や食堂や売店も利用できます。(定休日がありますので、ホームページでご確認ください。)

ぜひ、相模原キャンパスへ！お待ちしております。

■活動報告

宇宙の学校 (開催地は前頁)

4/22 今年度のスクーリングがスタート

宇宙の学校 指導者セミナーおよび講習会

5/19 小松市教育研究センター、6/10 岡山県生涯学習センター、

6/16 茅ヶ崎市松林公民館、

6/23 山口県大人版「宇宙の学校」(講習会)

7/21 釧路市こども遊学館

企業CSR支援事業 7/26.27 CKD株式会社ものづくり教室

広報活動 4/7.8 相模原市桜まつり

イベント・講演 5/29 相模原市青年会議所より講演依頼

7/21 山口県立図書館にて「宇宙の教室」

理事会 5/21 平成30年度 第1回理事会開催

通常総会 6/13 総会 開催

■会員状況

正会員 218 (個人: 200 学生: 1 企業・団体: 17)

賛助会員 50 (個人: 35 企業・団体: 15)

みなさまの会費や寄付金が運営費の一部となり、KU-MA活動を展開させていただいております。日頃のご支援に心より感謝を申し上げますとともに、引き続き、活動および活動資金へのご協力をお願いいたします。

■お詫び

メールマガジン宇宙茫々は、執筆者の都合によりお休みしております。また、今号のKU-MAニュースの発行も大変遅れまして誠に申し訳ありませんでした。重ねてお詫び申し上げます。

■会員募集中！！

◇正会員: KU-MAのミッションに賛同し、活動を推進する個人/法人・団体
年会費 個人: 10,000円(学生5,000円)、法人・団体: 50,000円

◇賛助会員: KU-MAのミッションに賛同し、寄付いただける個人と法人・団体
年会費 個人: 1口 1,000円、法人・団体: 1口 50,000円

※個人賛助会員への会員証、メールマガジンの送付は5口以上からです。

■会費や寄付金のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】
横浜銀行 淵野辺支店 普通預金 1768456
特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会
会長 並木 道義

「子どもの宇宙」を広げ 未来を豊かに

KU-MAはJAXA宇宙教育センターと宇宙教育活動に関する協定書に基づき、連携・協力しながら宇宙教育活動を推進しています
「宇宙の学校」は、JAXA宇宙教育センターと当会の共同事業です

NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 「宇宙の学校」事務局
〒252-5210神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内
電話・FAX: 042-750-2690
E-mail: KU-MAs@ku-ma.or.jp
ホームページ: http://www.ku-ma.or.jp